

保健師	27人(入会率31%)
助産師	41人(入会率84%)
看護師	1,199人(入会率63%)
准看護師	80人(入会率14%)

合計 1,347人(入会率52%)

2020年7月18日現在

# friend's



## 広島県看護協会 廿日市支部会報 第37号

### 看護協会廿日市支部 社会経済福祉研修会

研修演題 「三方よしの対話術」

日時 令和元年10月20日

講師 佐藤 亜弥先生(JA広島総合病院 臨床心理士 公認心理師)



今回の研修では、臨床心理士である佐藤先生の講義と参加者とのグループワークを通じて、「三方よしの対話術」について、学ぶことが出来ました。最近の職場では若手看護師からの報告・連絡・相談がなかなかうまくいかない事もあり、この三方よしの対話術で三方(自分・相手・組織)がそれぞれプラスになるように働きかけることで、若手看護師との関わりも促進する事ができて、効果的な職場環境に繋がる事を学びました。

グループワークでは、患者さんの「死にたい」という言葉に対して、どのような姿勢・言葉・行動をしていくべきかを検討しました。このテーマには正解はなく、その人その人の人生・感情・価値観があり、どのように尊厳を保つべきかを話し合い、そして各グループで発表することで、とても貴重な意見や考えを共有する事が出来ました。



地域看護事業

### あいプラザまつり

日時 令和元年11月2日

講師 あいプラザ



昨年、大好評だったアロママッサージを本年も実施しました。本年も、多くのお客さんが来られたので、お客さん一人につき、約10分で両手のマッサージを行い、一時は順番待ちになるほど大盛況でした。

マッサージを通して、地域の方々と色々な話をする事ができ、「とても気持ちいい」

「家でも試してみたい」といった、とても良い言葉をいただき、とても良い経験になりました。その他の「乳がん触知体験」も体験に来られたお客さんはとても関心をもって話しを聞いておられました。





# 研修参加報告

令和2年度看護研究会 看護協会・看護連盟共同開催

## 『今、伝えたいこと』 ～新型コロナウイルス感染症の拡大 再び～

日時 令和2年8月22日 場所 広島県看護協会会館

### 1. 「広島県における新型コロナウイルス感染症対策について」

広島県健康福祉局長 田中 剛

### 2. 「COVID-19との戦い」第一波を乗り越え Withコロナの時代へ

地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立舟入市民病院 総看護師長 森 麻美

### 3. 「新型コロナウイルス感染症の拡大から」－看護管理者としての静と動－

福山市民病院 看護部長 小阪 奈保子

### 4. 「感染管理看護力とチーム力」

庄原赤十字病院 看護部長 谷口 理恵



今回の研修に参加して、広島県の新型コロナウイルス感染症の最前線で働いている看護管理者の講義を受けさせていただきました。

最前線で働いている看護師は、多くの不安と葛藤を抱えながら、患者さんへの看護を提供していたことが伝わってくる内容でした。

なかでも国家として非常事態宣言が発令され、感染症の受け入れ当該施設として、陽性患者の受け入れをしてから、マスクミヤSNSといった対応に追われ、時には誹謗中傷といった世間のプレッシャーから患者さんを守る配慮もされていました。

また、マスクや消毒液といった感染予防に必要な備品不足のなか、広島東洋カープの雨用ポンチョをエプロンに代用するなど、様々な工夫をして乗り切ったことも、今後の対応に非常に参考になると思いました。

地域住民の応援横断幕や広島東洋カープ選手からの激励、地域連携病院の転院患者受け入れ協力、看護師派遣といった多くの支援を他施設と連携と協力したことが、現場で働く職員の精神的な疲労を和らげ、乗り越えることができた話を聞いて、地域の住民・病院・施設等が一丸となって励まし合い、支え合うことが、この感染症の危機を乗り越えていくことが大切になると実感しました。

### EDITOR'S NOTE



令和1年12月からCOVID19感染症の影響により、様々な行事や研修会が中止になりました。今後、感染症の影響による社会情勢の変動が不透明である中、廿日市支部広報として、何を発信していくべきなのか、頭を悩ましています。

このような状況であります廿日市支部の病院やクリニック・事務所等で活躍されている皆様に、少しでも有意義な広報誌であるように努めていきたいと思っております。

広報担当：広島西医療センター 古川 泰史